

大府かわら版



くらし支える公共交通の拡充を!

日本共産党・久永かずえ市議は11月26日(火)、この間みなさんに署名ご協力を呼び掛けてきた「ふれあいバスの増車と停留所を増やし利便性を求める請願書(署名376)」と同主旨の「陳情書(署名141)」を市議会議長宛に提出しました。このほか「市長への要望書(署名25)」も提出していきます。



「ふれあいバスの整備・拡充求める」署名

12月議会へ届ける

願いは3つ

- 署名に託された願いは、次の3つです。
- ①ふれあいバスと停留所を増やしてください
- ②ふれあいバスを補完する公共交通を検討してください
- ③名鉄南加木屋駅への乗り入れを実現してください

「ふれあいバス」 帰りは使えない

大府市の公共交通は少しずつ充実されてきていても、ふれあいバスの便数はまだまだ少ないのが実態。このため、一つの用事を済ませようと出かけても、半日とかそれ以上かかってしまう状況が続いています。行きは「ふれあいバス」を利用。でも帰りの時間帯とバス便が合わないために、やむなくタクシー利用というケースもあります。

タクシー利用は 簡単じゃない

タクシー利用といっても「市民の足」として確保しづらい状況があり、

昨今の深刻なドライバー不足が追い打ちをかけています。「日常的にタクシーを利用する経済的余裕はない」という切実な声も。



車がないと 暮らしせなくなる

「家族からは『自動車の運転免許は返納して』と促されているが、自家用車を手放せない」とこう訴える高齢世帯も少なくありません。公共交通が充実していないため通院や買い物など日常生活に車は欠かせないからです。このもとで高齢者の交通事故が社会問題となる現状は続いています。

署名の一筆一筆に強い思いが

日本共産党から呼び掛けた今回の署名に賛同した市民の方々からは、「知り合いに声掛けます」と署名用紙を数枚受け取って下さる、「共産党の支持ではないけどバスは増やしてほしい」と署名していただく、などご公共交通の充実への強い思いが伝わってきました。それをまっすぐ市

「高齢者の問題」 だけじゃない

移動手段の確保は高齢者に必要なだけではありません。精神疾患や発達障害等があつて運転免許証の取得が難しい方々、学生さんなどを有していない市民にとつても喫緊の課題です。だからこそ「市民の移動手段の充実を」と大府市議会として大府市へ声を上げてほしい。この思いで請願署名を提出しました。



拡充が待たれる「ふれあいバス」

●注目される議会の態度

今回の請願書は12月6日(金)に本会議上程のあと、建設産業委員会で審議され最終日の12月17日(火)に採決予定です。市民の願いに議会がどう向き合つか注目されます。

議会へ伝えていきます。

12月市議会の日程(いずれも午前9時より)

- 11月29日(金) 本会議初日
- 12月05日(土)～6日(金) 一般質問
- 12月06日(金) ふれあいバス充実の請願書上程
- 12月10日(火) 建設産業委員会(バス請願の審議)
- 12月11日(水) 厚生文教委員会
- 12月12日(木) 総務委員会
- 12月17日(火) 議会最終日・各議案の賛否

一般質問 **久永**市議は**5日**登壇
3番目・午前11時頃



12月議会の本会議・一般質問。日本共産党・久永市議は5日午前11時頃、3番目で質問に立つ予定です。

傍聴にぜひお出かけを!

相談はお気軽に
声かけください



生活相談 日常生活の困りごとについてご相談ください。

予約制で弁護士が対応 **法律相談**

12月18日(水)午後6時～(無料)

お急ぎの方も、まずは久永議員へ
久永かずえ 090-1758-3521
携帯電話